

鹿野川

発行
鹿野川村役場
1958.4.20
編集
鹿野川村教育委員会

三月定例村議会

三月定例村議会は三月二十八日招集、会期三日間で二十九日都
任委員会において議案を審議、三十日本会議を開いて定例会を終
つた。

附 議 事 件

- 1 昭和三十一年度一般、特別会計決算認定
- 2 昭和三十一年度井堰災害特別会計歳入歳出予算
- 3 昭和三十一年度一般、特別会計追加更正予算
- 4 予算の繰越使用について
- 5 昭和三十三年度一般、特別会計歳入歳出予算
- 6 一時借入金について
- 7 国民健康保険運営協議会委員の議決について

新農村の建設を めざして

一 本年度経済関係推進
事業のあらまし
農家経営が、八方ふさがりて
作るものはどれもこれも割りの
わるいことになりつつあること
は、前に書きましたが、このよ
うな危機を突破して、農林業を
振興しようとする運動が全国的
に高まっています。いわゆる新
農山村建設計画事業の展開で

本村も、九日のエヒメ新聞の通
り、予備計画地域の指定をうける
ことになりました。この一年間、
農業の本来の目覚と創業にもとづ
いた、振興計画をたて来年度はこ
れを実施にうつすべく、基礎調査
その調査と、農林業者の本来の要
求をもとにした、基本計画樹立の
ための色々な活動をするものが第
一にとりあける事業です。
これと合せて次のようなことを
重点的にすすめる考えです。
一 一般的奨励事業
イ 研修のための講習講演会の実
施
ロ 農畜産品評会の開催
ハ 農林業関係機関の連絡協調
技術普及活動の増進

昭和33年度一般会計歳入歳出予算

(単位 千円)

款	(歳入)		比較	本年予算
	本年度	前年度		
村 税	12,247	15,125	△2,878	55.0%
地方交付税	7,800	7,300	500	35.0%
公営企業財産収入	288	298	△10	1.2%
使用料手数料	170	156	14	0.7%
国庫支出金	429	1,544	△1,115	1.9%
県支出金	408	416	△8	1.8%
繰越金	800	1,400	△600	3.6%
雑収入	37	45	△8	0.1%
寄附金	53	1,883	△1,830	0.2%
村 債	12	12		0.0%
歳入合計	22,244	28,179	5,935	100

款	(歳出)		比較	本年予算
	本年度	前年度		
諸 会 費	676	738	△62	3.04
役 場 費	6,583	6,336	247	29.59
警 察 消 防 費	588	1,137	△549	2.65
土 木 費	1,303	3,631	△2,328	5.86
教 育 費	5,738	6,415	△677	25.80
社 労 費	585	1,460	△875	2.53
保 健 衛 生 費	568	911	△343	2.55
産 経 費	2,418	2,114	304	10.87
財 産 費	167	237	△70	0.75
統 計 費	12	13	△1	0.05
公 債 費	1,442	2,746	△1,304	6.48
諸 文 出 金	1,530	1,203	327	6.88
選 挙 費	21	37	△16	0.09
予 備 費	613	1,201	△588	2.76
歳出合計	22,244	28,179	△5,935	100

2 青年建設班の実施
ホ 国外移住の推進
ニ 耕種改良関係
イ 種子の三割更新、このため
の採種ほ設置
ロ 秋落田(一〇町歩) 積土(七町歩)の改良
ハ ビニール苗代による早植の奨励
3 病虫害防除関係
イ 共同防除の徹底
ロ 防除機具の整備
4 畜産関係
イ 集約牧野 改良牧野の改良
ロ 飼料作物栽培の奨励
ハ 共同施設の整備
ニ 家畜保健衛生対策の推進

5 特作関係
イ 柿、栗の増産
ロ 木炭の品質改善
ハ しいたけの増産と質の改良
(共同及かんい乾燥場の設置 奨励)
ニ 茶園造成及製茶組合の育成
以上のようなおことを、出来るだけ助成をして実施します。
部落長さんを通じたり、直接係とさんみつな連絡をとって、最大の実績を挙げるよう協力下さることをお願いいたしてきます。

5月3日より
鹿野川丸山遊園地のつじ園

本日の出来事

- 三月十日夕出発十六日朝帰村
村議会議員一行十六名九州方面の観光と鹿野川島下町村議会状況視察
十一日 農事連絡員会を開く
十三日 所得確定申告指導
十七日 婦人会中野分会主催敬老会開催
十八日 京造地出采形検査
二十日 教育委員会
廿一日 定例部落長会
建設省による大谷橋坂石方面の各橋及新設通路の開通式挙行
廿三日 定例議会運営について
議会委員長会を開く
百日咳予防接種
廿四日 各小 学校卒業式挙行
予子林故陸上三瀬勉君の英霊帰る
廿六日 定例村議会招集
廿八日 村議会常任委員会開催
廿九日 定例村議会を開く
四月一日 中野小学校において遺族総会
四日 中野小学校において新横林発電所完行式挙行
役場において鹿野川村煙草耕作組合総会を開く
各中小学校入学式挙行
中津小学校独立記念式並に電話開通記念式挙行
乳児検診

○麦の病害に注意
気温が上ると、サビ病が、それに雨が加さなると、ウドンコ病が出ます。早く見つけて、早く防除しましょう。

○石灰硫黄合剤ローメー
度十展着剤一斗につき
○二勾
○反当八斗一石 十日
おきに二回、麦のたおれるのも防ぎます

○水稲苗代について

- 1 面積 反当り一〇坪十三坪
2 播種量 坪当り二合三合
3 選種 まく四・五日前に、比重一・一〇(水一斗十塩一メ目)タマゴ又は十円銅貨が浮く程度
4 消毒 浸種後二昼夜して、水銀剤一、〇〇〇倍に三時間つけるをしてあげたものを水につける

5 苗代の肥料
肥料 硫酸 三〇匁
過石 四〇匁
塩化 二〇匁
か又は
油粕 一五〇匁
過石 四〇匁
草木灰一〇〇匁

※たべるものの組み合わせ方を工夫しよう

○ 私たちは、四百種類のたべものをたべている。これらはそれぞれの働きをするのです

だから上手に組み合わせて食べないと一つの働きにたよらぬようにせねばなりません。

○ 大体働き方を三つに分けることが出来ます。

1 血と肉になるもの
魚、肉、牛乳、卵、大豆などで、これらはまだまだ必要なたべたべていませぬ。大豆を一日一食すればよい。タマゴも、目家用に細しませしよ。牛乳、山羊乳をのむこともつとものとやりませしよ。

2 体の調子をとるもの
野菜、果物、海藻などで、これも充分とつておるとは言えませぬ。

3 働く力になるもの
米、麦、いもその他めん類があります。これは今のところ充分にとれてはいます。むしろこれをへらして、12の方の働きをするおかずをとる方がよいでしよ。

以上要するに、この三つの働きをするたべものをうまく組み合わせるたべることです。そうすれば元気に生活できるでしよ

○ 出生
共 栄 沖野 春江
泉 栄 鈴木 美由紀
市 電 松本 英幸
大 平 上田 恵子

○ 死亡者氏名
白石 前田 香代子
共 栄 川本 雄治
山 榎 白岩 克也
教 員 村田 恵子
建設 省 平田 玲
中 居 谷 滝野 徹也

○ 清水建設 横田 俊朗
教 員 宮岡 千鶴
下 サガヤ 西本 文男
汗 生 土居 仙次郎
萩の 尾 畦田 秀逸

町 安倍 シ、マヨ
中 津 滝野 ウ、ホエ
大 平 上田 マ、ラ
奥の 山 大越 一生

林業通信

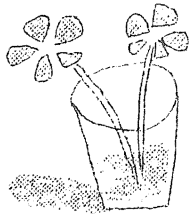
施肥期は4月下旬～5月中旬

昨年春秋に植林したものに肥料を施すと成績がよく下刈が一年一二年早く止められると云う。少経費で多くの労力が必要の事にもなりませぬので施肥を奨めます。

○ 肥料の種類
硫酸以外に造林用の固形肥料が出来ているが本村の山は急勾配であるから流失する場合はあり速効性の硫酸が安全である。
○ 施肥量
一本当り五匁六匁
本年の植付分に施肥すると枯る場合が多いので施肥しない方がよい。若し施肥する場合は六月中旬に行うこと
○ 施肥場所
苗木の上方一尺少さいクワで打開して施すと良い。あまり深くする必要はない。

椎茸の相場

椎茸の相場はその高落の激しいもの一つである。九州における豊凶が相場を決定すると言つても過言ではない。春子はなんと云つても四月中旬の気候が豊凶を決する事になる。四月初旬より下落気味であつたが三月中旬、下旬の季節風が偏して桶本が乾燥し平年作を下廻る傾向にあり漸次相場が上昇して来ている様に思える。四月十日現在で一寸上三五〇円より四〇〇円位である。一葉の椎茸も勤労の賜である。少しでも有利に販売せられる様お願いする。



県森運木村相場

Table with columns for tree types (杉, ヒノキ, マツ) and their prices in various sizes.

新任者紹介

Table showing population statistics: 人口 33,331, 男 4,115, 女 3,823, 計 7,938, 世帯数 1,492.

Table listing school principals and their names for various schools in the area.

桜の花も散つて、緑色の葉が勢よく伸びて次第に陽射しも強くなつてくると、そここゝにサイクリングの人々の姿も多くなり、陽気の良い河原などで憩う人の姿が見られる。
昔かたつたり寒かたつたりの日を過ぎて、一年を過ぎが、日本の四季は我々の單調な生活を救つてくれている。
大町桂月だつたか「若し四季の移り変りがなかつたら、我々の生活はどんなに退屈でだらしがなくなるだらう」と云うような意味のことをいつているが、四季夫々にいろいろと仕事のきりをつけたり計画を樹て直したり、新しい覚悟をしたりして、生活を見直してゆくことは習慣化もしてきた。しかし一度意識をしてみたらどうかと思ふ。
いろいろな経緯はあつたが、学校で正式に道徳教育が実施されるようになった。週一時間、教科以外の時間、ホームルームの時間に行われる。
どうせ行つたら効果は正しくあがるよう期待したい。そして学校でとりあげられる機会に、且て修身教育をうけた我々が、道徳的に身を処しているかどうか、公民として本当に社会道徳をわきまえ実行しているかを反省してみたい。

「この頃の子供は」と批判したかつたら、この頃の大人が子供の教科書であり得るようになりたいものだとしみじみ思う。